

にっしん版DMO構想

担当課：産業振興課 事業費：12,865,480円

1 目的

市内の商工業者、農業者をはじめ大学や交通事業者など多様な主体による「にっしん観光まちづくり準備委員会」を立ち上げ、地域の幅広い資源を最大限に活用することで、地域社会、経済、環境への多様な利益効果を生み出す。多様な関係者が関わることで、地域住民の地域への誇りと愛着を醸成し、地域外への流出を防ぐとともに、本市に訪れた観光客の定住の促進につなげることを目的とする。

2 実施事業内容

○事業概要

日進市の観光資源を有効に活用して、誘客につなげるために、本市への来訪客に関するデータの収集・分析、モニターツアーを通して、市場ニーズを把握するとともに、来訪を促す効果的な観光情報の発信を実施するため、にっしん版DMO構想推進に必要な組織を立ち上げる。

○事業内容

(1) 日進市観光等実態調査分析業務(参考資料参照)

① 来訪者アンケートによるマーケット調査(回答者数)

- ・イベント：にっしん夢まつり(171人)、にっしん市民まつり(304人)
- ・施設：岩崎城史記念館(菊花大会74人)、旧市川家住宅(138人)、愛知牧場(228人)、レトロでんしゃ館(93人)、和合温泉湯楽(133人)

② 観光関連事業者等関係主体ヒアリング調査

- ・市内の観光関連事業者(加藤サイクル、バイシクルリンユウ、クエスト、市民農園開設者)へのヒアリング

③ 本市の観光に関する潜在的なマーケット動向調査

- ・18歳から79歳の愛知県、静岡県、岐阜県、三重県の在住者(1,100人)

④ 観光に関する市民意識調査

- ・無作為抽出した18歳以上の市民2,000人(平成28年10月14日から11月3日)

⑤ 本市の観光を取り巻く状況整理・分析

- ・本市を取り巻く環境による影響と、それに対する本市の現状について、強み：S、弱み：W、機会：O、脅威：TのSWOT分析を行い、日進の観光まちづくり戦略についての協議を実施した。

(2) にっしん版DMO構想推進に必要な組織の設立に向けた支援業務

① にっしん観光まちづくり準備委員会の体制と検討プログラム

【体制】

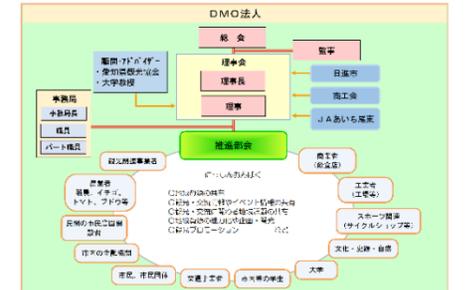
市内大学教授、商工会、JAあいち尾東、あいち牧場、愛知県観光協会、市民団体、日本政策金融公庫、日進市 全12名

【プログラム】

本市の観光プロモーション戦略とにっしん版DMOの体制及び組織設立の方策など、設立に向けたプログラムを全6回開催(9月27日、10月28日、11月25日、12月22日、2月14日、3月16日)

② リーダーの発掘、人材育成プログラム

日進の魅力活用講座及び情報発信スキル講座 全11講座を開催(10月5日、12日、18日、25日、11月8日、21日、30日、1月18日、25日、2月1日、8日) 延べ136人が参加



(3) モニターツアーの企画・催行業務

① 農業体験モニターツアー

- ・8月28日、9月11日、25日、10月9日、11月20日の計5日間
- ・市民農園で秋冬野菜づくり
- ・本市以外に居住する子育て世代の家族3組
- ・SNSを使って情報発信



② 自転車×α = ログアート

- ・携帯電話等GPS機能を使って市内のカフェなど巡りながら楽しく走る
- ・10月13日、3月4日、5日、11日、12日、16日の6日間
- ・日進市自転車部によるログアート



③自動走行体験試乗会 & 座禅×α

- ・2月18日（土）午後
- ・場所：愛知学院大学 日進キャンパス内
- ・小学生または中学生とその保護者 9組19人が参加
- ・市内の大学キャンパスを会場に自動走行車の実証実験と座禅体験を実施。



(4) 観光情報の効果的な発信業務

- ①WEBサイトの制作（ぐるぐる NISSHIN）
- ②PR動画の制作して、15秒バージョンを名駅3か所、栄3か所で放映。
- ③その他効果的な発信手法
 - ・Facebookの専用ページを開設し、農業体験モニターから情報発信

3 重要業績評価指標（KPI）現状値及び目標値

指標	現状値	目標値（平成31年度）
滞在人口率 ※1	平日 1.04倍(70,780人) 休日 0.98倍(66,587人)	平日 1.05倍 休日 1.00倍
モニターツアーコース	3コース	8コース
観光拠点の設定	5箇所	10箇所
市内総生産 ※2	250,691百万円	260,000百万円

※1：地域経済分析システム 愛知県日進市の国勢調査人口：67,992人（15歳以上80歳未満）が指定時間（14時）に滞在していた人数の月間平均値

現状値 2016年4月 目標値 2018年4月

※2：あいちの市町村所得 市町村内総生産

現状値 平成26年度（平成29年2月公表）目標値 平成28年度（平成31年3月公表）

【本事業の効果】

観光等実態調査分析を実施したことにより、市内の観光施設等の来訪実態や観光市場ニーズを把握することができた。また、モニターツアーを実施し、市内観光の可能性とモニターからのSNS等を使った、幅広い情報発信の取組を進めることで、本市ならではの観光ツーリズムの可能性と市場ニーズを把握することができた。

今後の、にっしんおんぱくの開催など本施策の目標達成に向けて、地域資源の共有や観光プロモーションを進める足がかりとなった。

4 今後の展開等

①日本版 DMO 候補法人の登録

今年度設置した「にっしん観光まちづくり準備委員会」で DMO 候補法人（日進市観光協会）の組織体制を引き続き検討し、平成29年度中に、観光庁のDMO候補法人に登録することを目指す。

※ DMO 法人を目指す上では、観光庁のDMO 候補法人に登録することで、補助金の獲得や国の連携支援チームの支援を受けることができる。

②基本方針、推進施策・事業等を検討

多様な関係者を巻き込んだ、DMO 候補法人の組織設立を目指し、地域資源の共有や観光プロモーションを進め、推進施策・事業等の拡大を図る。

③リーダー・人材育成

リーダー的人材、観光ボランティア、観光情報を発信する市民レポーター等の専門領域の人材育成に取り組み、自立したDMO法人を目指すために、愛知学院大学において平成30年度から「産官学連携講座」を開催し、日進市における観光資源や地域における観光街づくりに必要な基礎知識や専門知識を身につける人材を育成する予定。

④観光情報の発信

ホームページの維持管理（ぐるぐる NISSHIN）、PR動画の更新、SNSを活用した情報発信、観光情報誌の発行等、より多くの市民サポーターによる情報発信の手段を進める。

⑤にっしんおんぱくの開催

DMO 候補法人が検討・企画した事業を年間1回、期間を定め集中講座を開催し、市場動向を調査する。

市内の魅力を見出すとともに、市内の農業、商業、工業といった事業者の担い手育成、新たな事業展開、創業などのきっかけを作る。

平成29年度は、5月24日に「にっしんおんぱく」の勉強会を開催した。また、6月8日及び14日に職員勉強会も開催した。7月19日から22日にパートナー説明会を開催予定。

平成29年11月1日から平成30年1月3日までの期間でにっしんおんぱくを開催予定。

※ おんぱくとは

大分県別府市で始まったもので、観光客の減少で活気を失いつつあった地域を地域住民自ら元気にする取組。

現在では、全国の各地域で取り組まれており、地域資源、素材を使った商品の品質、価値や魅力を生産者が自ら消費者に伝える手段として、多くの体験型観光を企画・立案し、集中講座として開催すること。